

弟子屈町民の歌

池ヶ谷栄一 作詞
八洲 秀章 補作

mp

カムイヌプリのきりはれーて
アトサヌプリはいきていーる
みずのしらべはゆるやかに

mf

れいほうたかーくさちをよーび
あかるいあさーのひをうけーて
しずかにねむーるクツシャローこ

mp

げんしのもりはふかーくしーて
しらかばばやししみどりこーく
たいこのれきしゆうーゆーと

mf

しんびのうみーはあおくすーむ
しげるはいまーつしろつつーじれ
いでゆのめぐーみみちあふーれ

mp *mf*

しぜんぬくもりわくーとこーろわれらが
ゆたかなしじょうのわくーとこーろわれらが
きぼうとしあわせわくーとこーろわれらが

f

きょうーど
きょうーど
きょうーど

てしかがー
てしかがー
てしかがー

町町町

てしかがー
てしかがー
てしかがー

町町町

(三)

水のしらべは ゆるやかに
静かにねむる クツシャロ湖
太古の歴史 悠々と
いで湯のめぐみ 満ち溢れ
希望と幸せ 湧くところ
我等が郷土 弟子屈町

白樺林 緑濃く
茂る這松 白つつじ
ゆたかな詩情の 湧くところ
我等が郷土 弟子屈町

(二) アトサヌプリは 生きている
明るい朝の 陽をうけて

自然のぬくもり 湧くところ
我等が郷土 弟子屈町
霊峰高く 幸を呼び
原始の森は 深くして
神秘の湖は 碧く澄む

(一) カムイヌプリの 霧ははれて

弟子屈町民の歌

池ヶ谷栄一 作詞
八洲 秀章 補作